

百景を歩く ②

甲府盆地の夜景

(山梨県)



役立ち情報

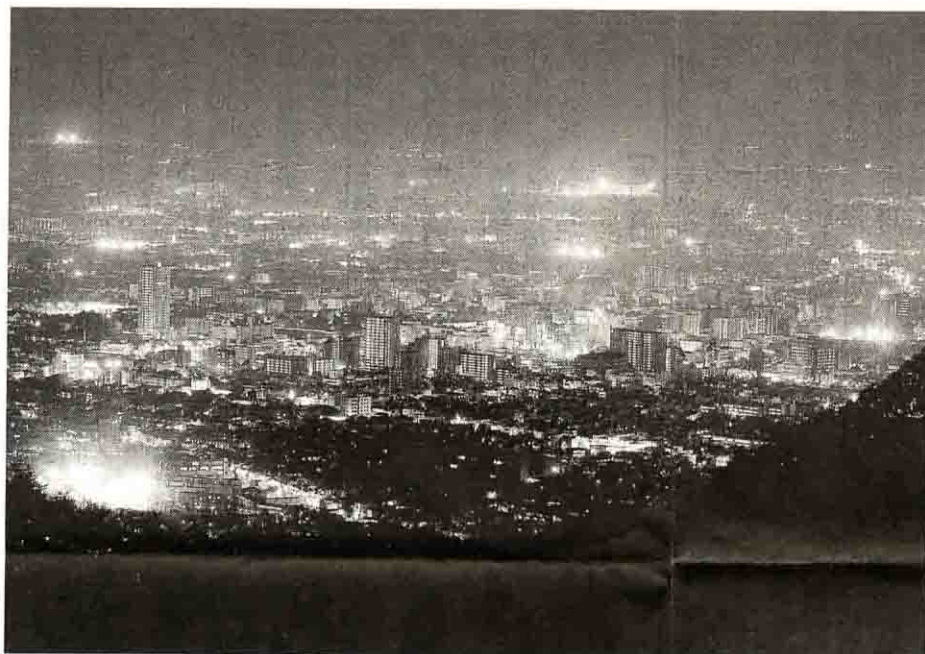
- ◆撮影スポット 笛吹川フルーツ公園、市川三郷みたまの湯など
- ◆アクセス 笛吹川フルーツ公園＝J R山梨市駅から車で7分、中央自動車道一宮御坂ICから約12km 市川三郷みたまの湯＝J R甲斐上野駅からタクシーで約10分、中央自動車道甲府南ICから約10分
- ◆周辺の見どころ 舞鶴城公園、昇仙峡、武田神社など武田信玄ゆかりの施設
- ◆名物 ブドウ、桃、ナシ、ワイン、ほうとう。ほうとうは、小麦粉を練ったうどん状のめんと野菜をミソで煮込んだ郷土料理
- ◆問い合わせ 甲府市観光協会 ☎055・226・6550

残雪を頂いた南アルプスに日が沈むと、盆地を囲む山々が青から黒へと落ちていく。その山並みに縁取られ、街明かりが宝石をちりばめたようにキラキラと揺れ始めた。

甲府盆地の夜景は、甲府市周辺の高台に上れば、それぞれに個性豊かな夜景を楽しめる。甲府市北部の和田峠や、同市と山梨市の境界にある太良峠からは富士山のシルエツトも堪能できる。中でも、山梨市の笛吹川フルーツ公園からの夜景は、2003年に「新日本三大夜景」に選ばれている。

フルーツ公園は、夜景がロマンチックな雰囲気を作り出しているとして、NPO法人「地域活性化支援センター」(静岡市)から、プロポーズをするのにふさわしい「恋人の聖地」として認定されている。その後、首都圏から夜景目当てに訪れる若者たちが増えたという。

山梨県観光部の青島洋和さんによると、新日本三大夜景に選ばれて以降、人気が高まり、夜景ツアーを企画する旅



暗闇に輝く市街地の明かりは宝石をちりばめたような輝き(甲府市で)

山に囲まれた「宝石」

行会社も始めたという。市川三郷町の温泉「みたまの湯」からは、露天風呂につかりながらの夜景が印象的だ。夕焼けを見た後、日が落ちると周りの山の黒いシルエットの中に、「宝石」の明かりがともし始める。最近では週末ともなると、温泉につか

りながら夜景を楽しもうという県外からの家族連れやカップルが増えている。「夜景といったら甲府」。甲府盆地ナイトツアーを考案する代表の内藤宥一さん(67)は、「このイメージを定着させ、いつか甲府の街が観光客でにぎわうようになればと願

っています」と、市民レベルで観光資源の活用に取り組んでいる。昨年11月には、不定期にバスツアーを企画。甲府や静岡県の商工会議所などと合同で実施した。さらに、昨年冬には甲府市などの企業が、ヘリコプターのナイトフライトとデザイナーを楽しむイベントを催した。クリスマスシーズンに上空から「宝石の夜景」を眺める。後援した甲府市観光協会も「甲府の新しい観光名物として定着させたい」と、積極的だ。

県は今年4月、社団法人・山梨県観光推進機構を作り、甲府盆地の夜景を含む観光宣伝に取り組んでいる。官民挙げた山梨の魅力づくりが、本格始動している。(甲府支局 柳瀬裕之)

笛吹川フルーツ公園。首都圏から大勢の若者が訪れる(山梨市で)



温かい生活の明かり 笛吹川フルーツ公園の最上部にあり、甲府盆地を一望できる日帰り温泉入浴施設「フルーツパーク赤松の湯ぶくぶく」総務部長・有賀啓子さん(60)



都会のネオンと違い、温かいオレンジ色の生活の明かりが広がる光景は、いつ見ても心がじわっと温かくなります。夕方は夜景と富士山の両方が楽しめるので、温泉につかりながら雄大な景色を楽しんでもらいたいと思います。

平成百景

読売新聞は、旅行プラン「四季の島 35の道」を募集中。8

月末締め切り。大賞には、スバル新型レガシィ ツーリングワゴンが贈られる。詳細は、ヨミウリ・オンライン (<http://www.yomiuri.co.jp/feature/heisei>

1100/35road.htm) を参照。冊子「応募手引」&平成百景紹介」を希望する方は、自宅の郵便番号、住所、氏名を記入し、140円切手を張った返信用封筒

(縦33cm以上、横24cm以上) を同封の上、〒103・8601 郵便(株)日本橋支店留 読売新聞「四季の島 35の道 応募手引」係まで。先着順で1冊ずつ贈呈。